



TICOの招きで来日し、心臓外科手術を見学するザンビア人医師（右の2人）＝小松島市の徳島赤十字病院

心臓外科手術学ぶ

赤十字病院 ザンビアの医師2人

アフリカ南部ザンビアの医師4人が23日、徳島赤十字病院（小松島市）と四国こどもとおとなの医療センター（香川県善通寺市）で心臓外科手術の研修を始めた。ザンビアで医療支援活動に取り組むNPO法人TICO（吉野川市）が招いた。

来日したのは首都ルサカにある国立ザンビア大付属教育病院の心臓外科医。徳島赤十字病院にはエドワード・ニンビリ（37）、フェリックス・ミッチェル（37）の両医師が訪れ、狭窄した大動脈弁を人工のものに取り換える「大動脈弁置換手術」

を見学した。約1カ月の滞在中、福村好晃心臓外科部長らがバイパスや弁膜症手術などを指導する。4人は2月、現地を訪れたTICOメンバーの指導を受け、心臓に開いた穴をふさぐ心房中隔欠損（ASD）閉鎖手術をザンビア人として初めて成功させ

た。TICOの招きでより高度な実技を学ぶ。（乾栄里子）